

## 評価シート 様式

取組名	大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト		
実施団体名	特定非営利活動法人大山中海観光推進機構(大山王国)	対象地域	鳥取県米子市、境港市、大山町、伯耆町、南部町、日吉津村、琴浦町、江府町、島根県松江市(美保関)、岡山県真庭市(蒜山高原)
(代表団体名)	—	推薦団体名	米子市(大山山麓観光推進協議会事務局)

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	大山パークウェイを座標軸にした地域の魅力アッププロジェクト		
実施団体名 (代表団体名)	特定非営利活動法人大山中海観光推進機構(大山王国)	対象地域	鳥取県米子市、境港市、大山町、伯耆町、南部町、日吉津村、琴浦町、江府町、島根県松江市(美保関)、岡山県真庭市(蒜山高原)
	—	推薦団体名	米子市(大山山麓観光推進協議会事務局)

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、市町村・県境を跨ぐ国立公園大山を縦断する道を、「大山パークウェイ」と名付け、寄り道を促す仕掛けにより点在する観光スポットを周遊できる観光ルートとして再構築を図るもので、大山パークウェイの認知が広がり、観光客が増えたことは高く評価できる。以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できる。
	次年度以降の取組みとして、本年度取組を実施したことであがった休憩スポット、案内標識のと統一化、滞在型観光の企画等の課題を解決してくため、それぞれ関係する団体を巻き込んで共同で取組んでいくべきである。 具体的には、取組①は単に一時的にキャンペーンを行うだけでなく、本格展開に繋がる形を検討していくべきである。取組②でのコンシェルジュ機能の設置は時期尚早であり、旅行商品の開発や周知に取組を特化すべきである。取組③については、外国語対応のHPは時期尚早であり、地域の案内標識等に特化すべきである。取組④は、取組①のエリアガイドと併せて全体で検討を行っていくべきである。取組⑤の定住化、二地域居住の促進については、効果が十分期待できず抜本的に見直しを行うべきである。